

学校名：大阪行岡医療専門学校長柄校

学科名：放射線科

記入者：福澤 宏省

1. 学校の教育目標

教育基本法、学校教育法に定める専修学校にして、医療専門課程を置き、放射線学、臨床検査学、はり、きゅう、あん摩マッサージ指圧術に関する理論と実地技能を備え、兼ねてその品性を陶冶し、有為な診療放射線技師、臨床検査技師、はり師・きゅう師・あん摩マッサージ指圧師を養成して、人類の福祉に寄与することを目的とする。

2. 学科の教育目標

最新の技術と知識と、そして心をモットーに理工学の基礎を養い、高度な技術や最先端の医療に対応すべく、知識そして医療人としての自覚とやさしさを備えた診療放射線技師の養成を目標とする。

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・学校の理念・目的・人材育成像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4 ③ 2 1
・学校における職業教育の特色は何か	4 ③ 2 1
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4 ③ 2 1
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4 ③ 2 1
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4 ③ 2 1

①課題

理念や目的を考慮し、日々進化する装置に対応できるよう教育し、国家試験の合格率を向上させる。

②今後の改善方策

最新の装置や技術に対応できるよう専門性の高い医療スタッフを集めるとともに、学生の数学力や思考力を高める。

③根拠資料

④特記事項

(2) 学校運営

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	4 ③ 2 1
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4 ③ 2 1
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4 ③ 2 1
・人事、給与に関する規程等は整備されているか	4 ③ 2 1
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4 ③ 2 1
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4 ③ 2 1
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4 ③ 2 1
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4 3 ② 1

①課題

- ・就業規則や給与に関する規定は整備されているが、それが配付されていないことがある。
- ・書類の電子化はされているが、共有率が低く効率があまり良くない。

②今後の改善方策

- ・ファイルサーバー(ネットワーク対応 HDD)に書類を保存し、共有化を進める。

③根拠資料

④特記事項

(3) 教育活動

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方法等が策定されているか	④ 3 2 1
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえ、就業年限に対応した教育到達レベルが明確にされているか	④ 3 2 1
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④ 3 2 1
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④ 3 2 1
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4 ③ 2 1
・関連分野における実践的な職業教育（インターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4 ③ 2 1
・授業評価の実施・評価体制はあるか	④ 3 2 1
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	④ 3 2 1
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④ 3 2 1
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④ 3 2 1
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④ 3 2 1
・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務を含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	4 ③ 2 1
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4 ③ 2 1

・職員の能力開発のための研修等が行われているか	4 3 ② 1
-------------------------	---------

①課題

授業評価は実施しているが、その評価体制ができていない。

②今後の改善方策

授業評価の評価体制を明確にすることと、学生の授業理解がより深められるようカリキュラムの内容や構成を逐次見直す。

③根拠資料

④特記事項

(4) 学修成果

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・就職率の向上が図られているか	4 ③ 2 1
・資格取得率の向上が図られているか	4 3 ② 1
・退学率の低減が図られているか	4 ③ 2 1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び計画を把握しているか	4 ③ 2 1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4 3 ② 1

①課題

昨年度と比較すると国家試験合格率は向上したが、まだ、改善すべき課題が多くある。

②今後の改善方策

資格の意味、重要性、魅力を充分理解させ、学習意欲を向上させることによって国家試験合格率向上につなげる。

③根拠資料

④特記事項

(5) 学生支援

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
・学生相談に関する体制は整備されているか	④ 3 2 1
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4 ③ 2 1
・学生の健康管理を担う組織体制は整備されているか	④ 3 2 1
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	4 ③ 2 1
・学生の生活環境への支援は行われているか	4 ③ 2 1
・保護者と適切に連携しているか	④ 3 2 1
・卒業生への支援体制はあるか	4 ③ 2 1
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4 ③ 2 1
・高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4 3 ② 1

①課題

求人件数がここ数年、若干ではあるが減少傾向にあるが、現状、就職については大きな問題はない。

②今後の改善方策

③根拠資料

④特記事項

(6) 教育環境

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	④ 3 2 1
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4 ③ 2 1
・防災に対する体制は整備されているか	④ 3 2 1

①課題

インターンシップや海外研修等は特に行っていない。

②今後の改善方策

インターンシップや海外研修等は授業時間数およびライセンスの関係上、実施するのが難しい。

③根拠資料

④特記事項

(7) 学生の受入れ状況

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・学生募集活動は、適正に行われているか	④ 3 2 1
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④ 3 2 1
・学納金は妥当なものとなっているか	④ 3 2 1

①課題

大学志向が強くなり受験者数が減少している。

②今後の改善方策

18歳人口が減少していくので、社会人・大学卒業見込み者などの応募が増加するような広報活動を行う。

③根拠資料

④特記事項

(8) 財務

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4 3 2 1
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4 3 2 1
・財務について会計監査が適正に行われているか	4 3 2 1
・財務情報公開の体制整備はできているか	4 3 2 1

①課題

②今後の改善方策

③根拠資料

④特記事項

(9) 法令等の遵守

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④ 3 2 1
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④ 3 2 1
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4 ③ 2 1
・自己評価結果を公開しているか	④ 3 2 1

①課題

②今後の改善方策

③根拠資料

④特記事項

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4 3 ② 1
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4 3 2 ①
・地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか	4 3 2 ①

①課題

月曜日から土曜日まで授業があり、ボランティア活動や社会・地域貢献の時間がとれない。

②今後の改善方策

③根拠資料

④特記事項

実施日： 2025 年 5 月 10 日(土曜日) 15 時 00 分～17 時 00 分

場 所： 大阪行岡医療専門学校長柄校 4 階 放射線科教務室

学校名： 大阪行岡医療専門学校長柄校

学科名： 放射線科

評価者： ① (臨床実習施設)

② (臨床実習施設) (同窓会役員)

【 講 評 】

○就職に関する支援で面接や履歴書の書き方についての指導をもう少し充実させても良いのではないかと。

○実習施設の数を増やすなどし、充実を図った方が良い。

○学校設備について充実しているとは思いますが、特色を出せるような設備充実をしてはどうか。

○成績は明確かつ公平な判断基準で評価されている。

○個人状の取り扱いに充分留意し管理を行っていると思われる。

【課 題・今後の対策】

○就職支援体制について充実を図る。

○実習施設の増加は数年かけて計画的に行っていく。

○概ね、「適切」や「ほぼ適切」の評価であるが、「やや適切」の評価がかった項目の改善を行う。

学校名：大阪行岡医療専門学校長柄校

学科名：臨床検査科

記入者：堀田 博恵

1. 学校の教育目標

本校は教育基本法、学校教育法に定める専修学校にして、医学専門課程を置き、放射線学、臨床検査学、はり・きゅう・あん摩マッサージ指圧術に関する理論と実地技能を教え、兼ねてその品性を陶冶し、有為な診療放射線技師、臨床検査技師、はり師・きゅう師・あん摩マッサージ指圧師を養成して、人類の福祉に寄与することを目的とする。(学則より)

2. 学科の教育目標

- (1) 臨床で必要とされる医療知識、医療技術を修得し、さらにコミュニケーションをとり他職種との連携、共同をはかることができる医療技術者を育成する。
- (2) 医療従事者として求められるマナーの修得をする。
- (3) より実践的な医療知識、医療技術の修得を目指し、講義及び実習を充実させる。
- (4) 学生に還元するため、教職員のスキルアップの向上を目指す。

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・学校の理念・目的・人材育成像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	④ 3 2 1
・学校における職業教育の特色は何か	④ 3 2 1
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4 ③ 2 1
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4 ③ 2 1
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	④ 3 2 1

①課題

- ・基本的な知識・技術を習得させるとともに、時代のニーズに対応できる質の高い医療人としての人材育成を考慮し、最終的には国家試験に繋がるよう努力したい。
- ・学校教育理念などの保護者への周知。

②今後の改善方策

- ・学生、保護者との3者面談の実施。
- ・定期的に教職員のミーティングを行い、教育理念や育成目標についての再確認、共有を図る。
- ・特色教育の取り組みをSNSやWebサイト、オープンキャンパスなどで積極的に発信する。

③根拠資料

学園パンフレット、学生募集要項

④特記事項

他職種との連携、協同を図ることができる医療技術者を育成するため、1年次より行岡病院にて実習見学を実施している。

(2) 学校運営

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	④ 3 2 1
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4 ③ 2 1
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4 ③ 2 1
・人事、給与に関する規程等は整備されているか	4 3 ② 1
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4 3 ② 1
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4 ③ 2 1
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4 ③ 2 1
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4 3 ② 1

①課題

- ・就業規則に関する規程が一部なく不明な点が多い。
- ・教育内容及び学生のニーズに合った教育の方法など学校の方針としてさらに明確に打ち出していくことが必要。
- ・学園全体のシステム化、特に情報共有での業務効率化が課題である。

②今後の改善方策

業務効率化や情報共有システム化の導入

③根拠資料

④特記事項

(3) 教育活動

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方法等が策定されているか	④ 3 2 1
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえ、就業年限に対応した教育到達レベルが明確にされているか	④ 3 2 1
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④ 3 2 1
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④ 3 2 1
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	④ 3 2 1
・関連分野における実践的な職業教育（インターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	④ 3 2 1
・授業評価の実施・評価体制はあるか	④ 3 2 1
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	④ 3 2 1
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④ 3 2 1
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④ 3 2 1
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4 3 ② 1
・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務を含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	4 ③ 2 1
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4 ③ 2 1

・職員の能力開発のための研修等が行われているか	4 3 ② 1
-------------------------	---------

①課題

- ・教員は人材育成目標の達成に向けた授業を行うための専門性や経験を備えているものの、教育以外の業務が多く、教育活動に集中しにくい一面がある。

今後は、教員が本来の教育活動に注力できるよう、業務分担の見直しや支援体制の整備が求められる。

- ・職員研修は実施されていない状況。

②今後の改善方策

- ・関連病院との連携を図り、職員の研究・研修を積極的に行う。
- ・教員が担う必要のない業務を可能な限り事務職員に移行する。
- ・出欠管理、成績処理、アンケート集計などをシステム化し、手作業を減らしたい。
- ・職員が成長できる機会を増やし、教職員同士が学び合える雰囲気づくりに取り組んでいきたい。

③根拠資料

④特記事項

厚生労働省指定規則に基づいたカリキュラムを作成し、適正な教育を行っており、その到達及び学修時間は確保されている。

学生指導については面談などで全学年行っており、成績不良等の学生保護者には連絡又は面談を実施している。保護者には成績通知を書面にて行っている。

(4) 学修成果

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・就職率の向上が図られているか	④ 3 2 1
・資格取得率の向上が図られているか	④ 3 2 1
・退学率の低減が図られているか	4 3 ② 1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び計画を把握しているか	4 ③ 2 1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4 ③ 2 1

① 課題

- ・学生の退学率の低減は多様な事情により容易ではないが、早期発見・早期対応・個別支援の充実を柱とした継続的な取り組みが求められる。

②今後の改善方策

- ・退学率を抑えるため、欠席が続いた学生や成績が著しく低下した学生に対し、担任等が早期に面談を実施し、教職員間で情報を共有する。
- ・補講、再テスト、チューター制度（学生同士の学習）など、基礎学力向上を支援する。

③根拠資料

④特記事項

臨床検査技師国家試験対策の講義や模擬試験などの免許に向けた指導を十分に行っている。就職に向けても就職ガイダンスの時間を設け、就職に対する指導を行っている。

(5) 学生支援

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
・学生相談に関する体制は整備されているか	④ 3 2 1
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4 ③ 2 1
・学生の健康管理を担う組織体制は整備されているか	4 ③ 2 1
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	4 ③ 2 1
・学生の生活環境への支援は行われているか	4 ③ 2 1
・保護者と適切に連携しているか	4 ③ 2 1
・卒業生への支援体制はあるか	4 ③ 2 1
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4 ③ 2 1
・高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4 ③ 2 1

①課題

- ・卒業生のネットワークが年々縮小となっている。
- ・卒業生は学校を通さずに転職すればその後の調査は困難になっている。

②今後の改善方策

卒業生の動向についてはできる限り調査していきたい。

③根拠資料

就職説明会資料

④特記事項

最終学年は担任を中心として、就職担当も交えて複数の教員で進路支援を行っている。

就職求人票は閲覧方式をとっている。学生が就職を希望すれば就職担当者と担任等が相談にのり、学生の希望や適性に合った進路決定を支援している。

(6) 教育環境

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	4 3 ② 1
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4 ③ 2 1
・防災に対する体制は整備されているか	4 ③ 2 1

① 課題

- ・設備面での老朽化が著しく、教育上対応が難しい場面もあり、学生の学習スタイルやニーズに対応したデジタル化の整備が求められている。
また、教育に使用可能な部屋は確保されているものの、十分に活用されていないスペースが一部存在しており、教育効果の向上を図るためにも早急な整備と有効活用が求められる。
- ・インターンシップは新カリキュラム以降、タスクシフトなどで授業内容が増え、実施することが難しい。

② 今後の改善方策

- ・設備については高額なものが多いため、一度には難しいが少しずつ買い替えを予定している。
レンタル、リユース品等も考慮に入れる。
- ・定期的に防災訓練を計画・実施し、防災意識を図る。

③ 根拠資料

③ 特記事項

(7) 学生の受入れ状況

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・学生募集活動は、適正に行われているか	4 ③ 2 1
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④ 3 2 1
・学納金は妥当なものとなっているか	④ 3 2 1

①課題

- ・募集活動は適正に行っているが、少子化の影響を受けている。
- ・広報においては学校名の認知度を高めるとともに、オープンキャンパスなどの実施日や内容をいかに広く志願者に認識してもらうかが課題であり、現状では広報を専門的に担う体制が十分とはいえず、来校者が受験につながるよう工夫・努力が課題となる。

②今後の改善方策

募集内容や方法・手段などを時代の流れに合わせて見直していく。

特に SNS や Web などデジタル媒体の活用を強化し、情報発信のタイミングや内容の最適化を図る。

また、限られた職員での学生募集活動の効率化、効果の最大化を目指したい。

③根拠資料

学校パンフレット、募集要項など

④特記事項

教員が年度初めに高校訪問、進学ガイダンス等の学生募集活動を行っている。

(8) 財務

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4 3 2 1
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4 3 2 1
・財務について会計監査が適正に行われているか	4 3 2 1
・財務情報公開の体制整備はできているか	4 3 2 1

①課題

②今後の改善方策

③根拠資料

④ 特記事項

(9) 法令等の遵守

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④ 3 2 1
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④ 3 2 1
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4 ③ 2 1
・自己評価結果を公開しているか	4 3 ② 1

①課題

自己評価については実施公開まで至っていない。

②今後の改善方策

学生からのアンケートを参考に自己評価を行い、問題点を改善していくよう努力する。

また、改善状況についても教職員間で共有し、継続的な質の向上を図る体制を整える。

③根拠資料

④特記事項

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4 3 ② 1
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	④ 3 2 1
・地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか	4 3 ② 1

①課題

大人数を対象とした講習会やセミナーを行うための施設が十分でなく、時間的な制約もあり実施が難しい状況である。

②今後の改善方策

学外での活動にできるかぎり積極的に参加している。

③根拠資料

④特記事項

学生の長期休暇を利用して技師会の献血ボランティア活動を行っている。

学会参加及びボランティア活動を実施している。

2024 年度学校法人行岡保健衛生学園 学校関係者評価

実施日：①2025 年 4 月 25 日（金曜日）10 時 00 分～12 時 00 分
②2025 年 5 月 1 日（木曜日）13 時 00 分～15 時 00 分

場 所：大阪行岡医療専門学校長柄校 4 階 臨床検査科教務室 他

学校名：大阪行岡医療専門学校長柄校

学科名：臨床検査科

評価者：①業界関係者（大阪府臨床検査技師会理事・大阪府衛生検査所精度管理審議会委員・臨地実習施設・就職先）

②業界関係者（臨地実習施設・就職先）

【講 評】

評価者：①

- ・専門学校という限られた教育期間の中で、3 年間にわたり臨床検査技師として必要な知識および技術を効果的に修得させ、国家資格取得を目指すという明確な目的のもと、カリキュラムが適切に構築されています。貴学の教育理念および育成方針に基づき、医療現場において即戦力となる人材の育成に真摯に取り組まれている点が高く評価されます。
- ・2022 年度からの新カリキュラムにおける臨地実習の教育内容の改正にも的確に対応され、実習が適正に運用されている。
- ・本年の国家試験の合格率が非常に改善され、学生に対する指導者の努力がうかがえる。貴学は、臨床検査技師の育成のため、理念や目的を遵守し適切に運営されている。
- ・各学年において退学者が見られる点については、今後、学生の学習・生活支援体制のさらなる強化等により、退学者数の低減を図ることが期待されます。
- ・余裕があれば学生の社会的視野を広げる取り組みの一環として、地域や社会への貢献活動（例：ボランティア活動）を計画的に実施することも有意義と考えます。
- ・防災対応に関しては、年に一度、防災設備の点検や避難経路の確認を行うなど、学生および教職員の防災意識の向上に資する取り組みが望まれます。

評価者：②

- ・2022 年度入学生から臨地実習の教育内容が大きく改正され、内容の充実が図られた。これに伴い、養成施設では大きなカリキュラム改訂が実施されたが、それに対応して体制も整備され適正に運用されている。学生が臨地実習に必要な技量・態度を備えていることの確認、実習前技能修得到達度評価を行い、実習施設と連携し対応されている。
- ・学生に対しては目的・目標を明確にさせ将来の構想を持たせ、充実した学生生活が送れるよう指導していただきたい。
- ・ホームページの学科紹介はシンプルにわかりやすくまとめられている。

【課題・今後の対策】

- ・退学者低減については、学生の学習状況や生活環境の把握と早期対応を可能とする体制（学生の相談窓口など）を設け、継続的な支援を通じてさらなる低減に努めたい。
- ・臨地実習に関しては、引き続き実習前の技能評価および学生の心構えに対する指導を徹底し、実習施設との密接な連携をとることで実践力をより一層高める工夫が必要と考える。
- ・学生の社会的視野を広げる一環として、地域連携・社会貢献を目的としたボランティア活動の機会を検討していきたい。
- ・防災に関する取り組みについては、年1回の防災訓練や設備確認の実施を通じて、学生および教職員の防災意識向上に努めたい。
- ・ホームページ、SNSなどの情報発信については、現在の分かりやすい構成部分は維持しつつ、学生の活動や特色ある取り組み等を積極的に掲載することで、学校の魅力や実績をより広く発信していきたい。

学校名：大阪行岡医療専門学校長柄校

学科名：鍼灸科

記入者：名倉 正典

1. 学校の教育目標

本校は教育基本法、学校教育法に定める専修学校にして、医療専門課程を置き、放射線学、診療検査学、はり・きゅう・あん摩マッサージ指圧術に関する理論と実地技能を教え、兼ねてその品性を陶冶し、有為な診療放射線技師、臨床検査技師、はり師・きゅう師・あん摩マッサージ指圧師を養成して、人類の福祉に寄与することを目的とする。

(学則より転記)

2. 学科の教育目標

本学の理念である「協同」の精神に則り、他者とのコミュニケーションの重要性を十分に理解して、協調性をもって医療現場に臨み、倫理の重要性や人の命の尊さを十分に意識して行動ができ、自ら考え判断して地域医療に貢献できる人間性豊かな人材の育成を目指しています。

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・学校の理念・目的・人材育成像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	④ 3 2 1
・学校における職業教育の特色は何か	4 ③ 2 1
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4 ③ 2 1
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4 3 ② 1
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4 ③ 2 1

①課題

・学校の理念・目的など学生への周知は、入学時のオリエンテーションなどで行っているが、保護者に対する周知は十分ではない。

②今後の改善方策

・オープンキャンパスで学校の理念・目的などの説明を行う。また、保護者会などの開催を検討する。

③根拠資料

④特記事項

(2) 学校運営

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	4 3 ② 1
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4 ③ 2 1
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4 3 ② 1
・人事、給与に関する規程等は整備されているか	4 3 2 1
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4 3 2 1
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4 ③ 2 1
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4 ③ 2 1
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4 3 ② 1

①課題

- ・情報システム化等による業務の効率化は進んでいない。

②今後の改善方策

- ・学園全体の情報共有化を進め、学園運営の円滑化を図るためにグループウェアなどの導入を検討する。

③根拠資料

④特記事項

(3) 教育活動

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方法等が策定されているか	4 ③ 2 1
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえ、就業年限に対応した教育到達レベルが明確にされているか	4 ③ 2 1
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4 ③ 2 1
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4 ③ 2 1
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4 ③ 2 1
・関連分野における実践的な職業教育（インターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	④ 3 2 1
・授業評価の実施・評価体制はあるか	④ 3 2 1
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	④ 3 2 1
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④ 3 2 1
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④ 3 2 1
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④ 3 2 1
・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務を含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	4 3 ② 1
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4 3 ② 1

・職員の能力開発のための研修等が行われているか	4 3 ② 1
-------------------------	---------

①課題

- ・外部研修及び鍼灸科内での研修はあまりおこなっていない。
- ・教員の確保が難しくなっている。

②今後の改善方策

- ・今後、外部研修の参加や鍼灸科内での研修の取り組みの実施を検討する。
- ・業界での人材確保に努めるために、卒業生や各種業界での情報収集に努める。また、教員確保に対しても、教員養成施設との連絡を平素より行う。

③根拠資料

④特記事項

- ・外部研修として東洋療法学校協会主催の教員研修会に参加している。

(4) 学修成果

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・就職率の向上が図られているか	④ 3 2 1
・資格取得率の向上が図られているか	4 ③ 2 1
・退学率の低減が図られているか	4 ③ 2 1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び計画を把握しているか	4 3 ② 1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の 改善に活用されているか	4 3 ② 1

①課題

・進路希望調査及び進路調査などを行っているため、在校生、直近の卒業生の動向についてはおおよそ把握しているが、卒業年数が経つにつれ追跡調査を行っていないので不明者が出てくる。

②今後の改善方策

・数年に一度、追跡調査の実施を検討する。

③根拠資料

④特記事項

(5) 学生支援

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
・学生相談に関する体制は整備されているか	4 ③ 2 1
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4 3 ② 1
・学生の健康管理を担う組織体制は整備されているか	4 ③ 2 1
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	4 ③ 2 1
・学生の生活環境への支援は行われているか	4 ③ 2 1
・保護者と適切に連携しているか	4 ③ 2 1
・卒業生への支援体制はあるか	4 3 ② 1
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4 ③ 2 1
・高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4 3 ② 1

①課題

- ・高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取組みが十分に行われていない。

②今後の改善方策

- ・今後、高校訪問を通して連携できる学校に対して、出張授業および職業体験を行うことでキャリア教育・職業教育の取組みを進めていく。

③根拠資料

④特記事項

(6) 教育環境

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	4 3 ② 1
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4 ③ 2 1
・防災に対する体制は整備されているか	4 3 ② 1

①課題

- ・施設・設備の老朽化が所々にみられるため、補修及び改修工事が必要と考えられる。
- ・wi-fi 環境などの通信関連設備が整っていない。
- ・地震などの大規模災害に対する体制は不十分である。

②今後の改善方策

- ・施設・設備の点検、補修及び改修、現状に応じた設備の取り換えを行う必要がある。
- ・デジタル化にむけた学園全体設備及び授業内容などの改善が必要である。
- ・大規模災害に対する学園共通の体制を構築する必要がある。

③根拠資料

④特記事項

(7) 学生の受入れ状況

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・学生募集活動は、適正に行われているか	④ 3 2 1
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4 ③ 2 1
・学納金は妥当なものとなっているか	4 ③ 2 1

①課題

- ・ホームページ、SNS、高校訪問、オープンキャンパス、ナイトオープンキャンパス、授業体験型のプレスツアーなどを行っているが、受験生が減少している。

②今後の改善方策

- ・高校訪問やSNSの活用により、オープンキャンパス開催および鍼灸科の活動の周知を進める。

③根拠資料

④特記事項

(8) 財務

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4 3 2 1
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4 3 2 1
・財務について会計監査が適正に行われているか	4 3 2 1
・財務情報公開の体制整備はできているか	④ 3 2 1

①課題

②今後の改善方策

③根拠資料

④特記事項

(9) 法令等の遵守

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④ 3 2 1
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4 ③ 2 1
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4 ③ 2 1
・自己評価結果を公開しているか	④ 3 2 1

①課題

- ・設置基準や指定規則に従い、適正な運営がなされている。

②今後の改善方策

- ・法令順守の徹底を図る。

③根拠資料

④特記事項

- ・法令遵守については、一般的な事象ではあるが、教員、学生ともに立場を利用した行為は行なわない。

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4 3 ② 1
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4 ③ 2 1
・地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか	4 3 ② 1

①課題

- ・高校への腰痛予防講座の実施、学内の臨床実習により社会貢献・地域貢献を行っているが、地域住民への働きかけは積極的に行っていない。
- ・地域住民に本校の教育内容およびはりきゅう、あん摩マッサージ指圧、東洋医学について周知地域する必要がある。

②今後の改善方策

- ・地域貢献を目的に公開講座やあん摩マッサージ指圧などの実技体験を検討、実施する。
- ・社会福祉協議会など外部団体と協力して社会貢献の場を作るように努める。

③根拠資料

④特記事項

2024年度 学校法人行岡保健衛生学園

学校関係者評価表

R7. 5. 14

学校名： 大阪行岡医療専門学校長柄校

学科名： 鍼灸科

評価者： 丹波 徹二 先生

公益社団法人 大阪府鍼灸師会 理事

評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・学校の理念・目的・人材育成像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4 3 2 1 4
・学校における職業教育の特色は何か	4 3 2 1 3
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4 3 2 1 3
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4 3 2 1 3
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4 3 2 1 3

(特記事項)

- ・HPの改訂 去年より見やすく、情報収集がしやすくなっている

(2) 学校運営

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	4 3 2 1
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4 3 2 1
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4 3 2 1
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4 3 2 1
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4 3 2 1
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4 3 2 1
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4 3 2 1

(特記事項)

- ・業界（業団）との関わりも、関係性が高まることを期待する

(3) 教育活動

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方法等が策定されているか	4 3 2 1
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえ、就業年限に対応した教育到達レベルが明確にされているか	4 3 2 1
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4 3 2 1
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4 3 2 1
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4 3 2 1
・関連分野における実践的な職業教育（インターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4 3 2 1
・授業評価の実施・評価体制はあるか	4 3 2 1
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4 3 2 1
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4 3 2 1
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4 3 2 1
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4 3 2 1
・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務を含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	4 3 2 1
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4 3 2 1

・職員の能力開発のための研修等が行われているか	4 3 2 1
-------------------------	---------

(特記事項)

- ・関係施設、業界団体との関わりは
- ・教員の確保
- ・教員の資質向上の研修への取り組み

(4) 学修成果

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・就職率の向上が図られているか	4 <input checked="" type="checkbox"/> 3 2 1
・資格取得率の向上が図られているか	<input checked="" type="checkbox"/> 4 3 2 1
・退学率の低減が図られているか	4 3 <input checked="" type="checkbox"/> 2 1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び計画を把握しているか	4 3 <input checked="" type="checkbox"/> 2 1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4 3 <input checked="" type="checkbox"/> 2 1

(特記事項)

- ・卒業生との繋がりが稀薄に感じる 具体策はあるか

(5) 学生支援

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4 3 2 1
・学生相談に関する体制は整備されているか	4 3 2 1
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4 3 2 1
・学生の健康管理を担う組織体制は整備されているか	4 3 2 1
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	4 3 2 1
・学生の生活環境への支援は行われているか	4 3 2 1
・保護者と適切に連携しているか	4 3 2 1
・卒業生への支援体制はあるか	4 3 2 1
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4 3 2 1
・高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4 3 2 1

(特記事項)

・出張講義などの実施

高校への声かけをしていただけるとのこと

・保護者との連携は高校新卒者には、取るようにしている

(6) 教育環境

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	4 3 <input type="checkbox"/> 2 1
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4 <input type="checkbox"/> 3 2 1
・防災に対する体制は整備されているか	4 3 <input type="checkbox"/> 2 1

(特記事項)

- ・災害マニュアル 特に実習中の災害マニュアルはあるのか
- ・避難訓練の実施

(7) 学生の受入れ状況

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・学生募集活動は、適正に行われているか	4 3 2 1
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4 3 2 1
・学納金は妥当なものとなっているか	4 3 2 1

(特記事項)

・おもにホームページ

(8) 法令等の遵守

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4 3 2 1
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4 3 2 1
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4 3 2 1
・自己評価結果を公開しているか	4 3 2 1

(特記事項)

- ・関係者評価での問題提起に応えているのか

(9) 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4 3 2 <input type="checkbox"/> 1
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4 <input type="checkbox"/> 3 2 1
・地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか	4 3 2 <input type="checkbox"/> 1

(特記事項)

- ・地域の健康相談
- ・区民公開講座への積極的参加

2024年度 学校法人行岡保健衛生学園

学校関係者評価表

R7. 5. 13

学校名： 大阪行岡医療専門学校長柄校

学科名： 鍼灸科

評価者： 藤本 浩司 先生

大阪行岡医療専門学校長柄校 鍼灸科 同窓会行鍼会 副会長

評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・学校の理念・目的・人材育成像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4 3 2 1
・学校における職業教育の特色は何か	4 3 2 1
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4 3 2 1
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4 3 2 1
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4 3 2 1

(特記事項)

- ・あん摩マッサージ指圧鍼灸の良い所を多くの方々に伝えられるように、より多くの良い施術者を育てる

(2) 学校運営

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	4 3 2 1
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4 3 2 1
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4 3 2 1
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4 3 2 1
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4 3 2 1
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4 3 2 1
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4 3 2 1

(特記事項)

- ・コロナ禍も終わり、コロナ禍以前のように運営できている

(3) 教育活動

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方法等が策定されているか	4 3 2 1
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえ、就業年限に対応した教育到達レベルが明確にされているか	4 3 2 1
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4 3 2 1
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4 3 2 1
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4 3 2 1
・関連分野における実践的な職業教育（インターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4 3 2 1
・授業評価の実施・評価体制はあるか	4 3 2 1
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4 3 2 1
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4 3 2 1
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4 3 2 1
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4 3 2 1
・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務を含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	4 3 2 1
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4 3 2 1

・職員の能力開発のための研修等が行われているか	4 3 2 1
-------------------------	---------

(特記事項)

- ・良いカリキュラムですが、より良く国家試験の合格率をあげる方法を考える
- ・インターンシップ先の開拓

(4) 学修成果

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・就職率の向上が図られているか	4 <input checked="" type="checkbox"/> 3 2 1
・資格取得率の向上が図られているか	4 <input checked="" type="checkbox"/> 3 2 1
・退学率の低減が図られているか	4 <input checked="" type="checkbox"/> 3 2 1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び計画を把握しているか	4 <input checked="" type="checkbox"/> 3 2 1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4 <input checked="" type="checkbox"/> 3 2 1

(特記事項)

- ・就職先の開拓
- ・治療所、病院、介護施設、デイサービスなどより選択肢を増やす

(5) 学生支援

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4 <input checked="" type="checkbox"/> 3 2 1
・学生相談に関する体制は整備されているか	4 <input checked="" type="checkbox"/> 3 2 1
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4 3 <input checked="" type="checkbox"/> 2 1
・学生の健康管理を担う組織体制は整備されているか	4 <input checked="" type="checkbox"/> 3 2 1
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	4 <input checked="" type="checkbox"/> 3 2 1
・学生の生活環境への支援は行われているか	4 <input checked="" type="checkbox"/> 3 2 1
・保護者と適切に連携しているか	4 3 <input checked="" type="checkbox"/> 2 1
・卒業生への支援体制はあるか	4 <input checked="" type="checkbox"/> 3 2 1
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4 <input checked="" type="checkbox"/> 3 2 1
・高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	<input checked="" type="checkbox"/> 4 3 2 1

(特記事項)

- ・就職先の選択肢を増やす
- ・相談に来る学生には対応するが、もっと教員からもアプローチする

(6) 教育環境

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	4 <input checked="" type="checkbox"/> 3 2 1
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 4 3 2 1
・防災に対する体制は整備されているか	<input checked="" type="checkbox"/> 4 3 2 1

(特記事項)

- ・特になし
- ・設備は少し古くなっている

(7) 学生の受入れ状況

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・学生募集活動は、適正に行われているか	4 3 <input type="checkbox"/> 2 1
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4 <input type="checkbox"/> 3 2 1
・学納金は妥当なものとなっているか	<input type="checkbox"/> 4 3 2 1

(特記事項)

- ・学生募集にインターネットやSNS、代行業などを有効に使って欲しい
- ・定員割れしない様に努力して欲しい

(8) 法令等の遵守

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4 3 2 1
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4 3 2 1
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4 3 2 1
・自己評価結果を公開しているか	4 3 2 1

(特記事項)

- ・個人情報保護について、紙ベース分を厳重にする

(9) 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4 <input checked="" type="checkbox"/> 3 2 1
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4 3 <input checked="" type="checkbox"/> 2 1
・地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか	4 <input checked="" type="checkbox"/> 3 2 1

(特記事項)

- ・学生各自の活動になっているので、地域情報などを多く提供する

関係者評価・自己評価について（鍼灸科）

1. 日 時： 令和 7年 5月 29日（木） 16時40分
2. 場 所： 大阪行岡医療専門学校長柄校 鍼灸科 教務室
3. 出席者： 森田恭弘 西口陽通 河合稔弘 名倉正典 齊藤芳枝 森 幸代 石割 讓 高木慶子
4. 検討内容： 藤本浩司先生による学校関係者評価 5月13日（火）実施
丹波徹二先生による学校関係者評価 5月14日（水）実施
名倉正典教員による自己点検評価 5月21日（水）実施
以上3つの評価について検討した。

藤本氏

- ・ 国家試験の合格率をもっと高める。国家試験の合格率を上げる必要性がある
- ・ 就職活動での学生支援をより充実させて欲しい
- ・ ボランティア活動、社会貢献、地域貢献の情報提供をする

丹波氏

- ・ ホームページは改良されて、わかりやすくなっている
- ・ 高校との連携に不十分な面がある。出張授業などで連携をはかる
- ・ 災害マニュアル 特に実習中の災害マニュアルは必要である
- ・ 同窓会、卒業生との連携を十分におこなう。卒業生への支援として就職登録制度
- ・ 業界団体との連携 （公社）大阪府鍼灸師会、（公社）大阪府鍼灸マッサージ師会など
- ・ 地域の健康相談、区民公開講座への積極的参加

5. 資 料：2024年度 学校関係者評価表 行岡保健衛生学園 - 藤本 2025. 5. 13
2024年度 学校関係者評価表 行岡保健衛生学園 - 丹波 2025. 5. 14
2024年度 学内における自己点検評価表 行岡保健衛生学園 - 名倉 -

記録者 森田恭弘

以 上

メモ

- ・あん摩マッサージ指圧鍼灸の良い所を多くの方々に伝えられるように、より多くの良い施術者を育てる
- ・コロナ禍も終わり、コロナ禍以前のように運営できている
- ・良いカリキュラムですが、より良く国家試験の合格率をあげる方法を考える
- ・インターンシップ先の開拓
- ・就職先の開拓
- ・治療所、病院、介護施設、デイサービスなどより選択肢を増やす
- ・就職先の選択肢を増やす
- ・相談に来る学生には対応するが、もっと教員からもアプローチする
- ・設備は少し古くなっている
- ・学生募集にインターネットやSNS、代行業などを有効に使って欲しい
- ・定員割れしない様に努力して欲しい
- ・個人情報保護について、紙ベース分を厳重にする
- ・学生各自の活動になっているので、地域情報などを多く提供する

- ・HPの改訂 去年より見やすく、情報収集がしやすくなっている
- ・業界（業団）との関わりも、関係性が高まることを期待する
- ・関係施設、業界団体との関わりは
- ・教員の確保
- ・教員の資質向上の研修への取り組み
- ・卒業生との繋がりが稀薄に感じる 具体策はあるか
- ・出張講義などの実施 高校への声かけをしていただけるとのこと
- ・保護者との連携は高校新卒者には、取るようにしている
- ・災害マニュアル 特に実習中の災害マニュアルはあるのか
- ・避難訓練の実施
- ・おもにホームページ ← 学生募集 高校訪問、インスタグラム
- ・関係者評価での問題提起に答えているのか
- ・地域の健康相談
- ・区民公開講座への積極的参加

自己点検評価

- ・学校の理念・目的など学生への周知は、入学時のオリエンテーションなどで行っているが、保護者に対する周知は十分ではない。
- ・情報システム化等による業務の効率化は進んでいない。
- ・外部研修及び鍼灸科内での研修はあまりおこなっていない。
- ・教員の確保が難しくなっている。
- ・外部研修として東洋療法学校協会主催の教員研修会に参加している。
- ・進路希望調査及び進路調査などを行っているため、在校生、直近の卒業生の動向についてはおおそ把握しているが、卒業年数が経つにつれ追跡調査を行っていないので不明者が出てくる。
- ・高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取組みが十分に行われていない。
- ・施設・設備の老朽化が所々にみられるため、補修及び改修工事が必要と考えられる。
- ・wi-fi 環境などの通信関連設備が整っていない。
- ・地震などの大規模災害に対する体制は不十分である。
- ・ホームページ、SNS、高校訪問、オープンキャンパス、ナイトオープンキャンパス、授業体験型のプレスクールなどを行っているが、受験生が減少している。
- ・設置基準や指定規則に従い、適正な運営がなされている。
- ・高校への腰痛予防講座の実施、学内の臨床実習により社会貢献・地域貢献を行っているが、地域住民への働きかけは積極的に行っていない。
- ・地域住民に本校の教育内容およびはりきゅう、あん摩マッサージ指圧、東洋医学について周知地域する必要がある。

対応

- ・オープンキャンパスで学校の理念・目的などの説明を行う。また、保護者会などの開催を検討する
- ・学園全体の情報共有化を進め、学園運営の円滑化を図るためにグループウェアなどの導入を検討する。
- ・今後、外部研修の参加や鍼灸科内での研修の取組みの実施を検討する。
- ・業界での人材確保に努めるために、卒業生や各種業界での情報収集に努める。また、教員確保に対しても、教員養成施設との連絡を平素より行う。
- ・数年に一度、追跡調査の実施を検討する。
- ・今後、高校訪問を通して連携できる学校に対して、出張授業および職業体験を行うことでキャリア教育・職業教育の取組みを進めていく。
- ・施設・設備の点検、補修及び改修、現状に応じた設備の取り換えを行う必要がある。
- ・デジタル化にむけた学園全体設備及び授業内容などの改善が必要である。

- ・大規模災害に対する学園共通の体制を構築する必要がある。
- ・高校訪問や SNS の活用により、オープンキャンパス開催および鍼灸科の活動の周知を進める。
- ・法令順守の徹底を図る。
- ・法令遵守については、教員、学生ともに立場を利用した行為は行なわない。
- ・地域貢献を目的に公開講座やあん摩マッサージ指圧などの実技体験を検討、実施する。
- ・社会福祉協議会など外部団体と協力して社会貢献の場を作るように努める。